

むらいクリニック通信

睡眠時無呼吸症候群と運転業務

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は夜間無呼吸や低呼吸が出現することにより睡眠が浅くなり、覚醒反応が多くなるため睡眠の分断化がおこります。そのため睡眠時間をそれなりにとったはずなのに熟睡感が得られなかったり、昼間の眠気が出現します。そのため仕事上で作業ミスの原因になったり、運転業務では交通事故の原因となります。睡眠時無呼吸症候群の方は、交通事故のリスクが約4倍あるとも言われます。

○特に睡眠時無呼吸症候群の治療が必要な方

★鉄道、バス、タクシー、飛行機、船など、**お客さんを乗せての運転業務をする方**

...万が一、事故をしてしまった場合は、お客さんから会社、または個人が訴えられたり、仕事を退職させられたり等の事態が発生してしまう可能性があります。

★中長距離を走る**トラック運転手の方**

...事故を起こしてしまうと、相手先や自分の会社に、影響を及ぼす可能性がでてきます。

●**事故 事例**●

2003/2	※山陽新幹線の岡山駅でのホームはみ出し	東京行の新幹線が、停車駅が近づいているにも関わらず、乗客800名を乗せたまま時速270kmで8分間居眠り走行したため、ATC(自動列車制御装置)が作動し、所定の停止位置よりも100m手前で停車した。運転士は腰かけたまま寝ており睡眠時無呼吸の自覚症状もあった。
2005/11	滋賀県の名神高速道路での事故	トラック・バスなどを含んだ多重事故。トラックの運転手は重度のSASであった。男性7人が死傷。
2012/4	群馬県の関越道での事故	石川県からディズニーランドに向かっていたツアーバスが防音壁に衝突した事故。7人が死亡、38人が重軽傷を負った。
2012/7	東京都の首都高速での事故	渋滞で減速していたワゴン車にトラックが追突した事故。ワゴン車に乗っていた4人が死亡、2人が重傷を負った。

※...世間に睡眠時無呼吸症候群という病気が広まるきっかけとなったのが、これの事案です

上記の事例以外にも、睡眠時無呼吸症候群が原因の交通事故はあります。事例を見る限り高速道路走行中の事故が多いようです。その理由としては、高速道路は信号がなく道も平坦なため、ぼーっとしやすくなったり眠くなりやすくなります。このような症状が出たことがある方は、重大事故を起こす危険性が非常に高いと思われます。また、何度か当クリニックの通信でお知らせしておりますが、睡眠時無呼吸症候群と診断された方で治療をせずに交通事故を起こしてしまうと、危険運転致死傷罪という飲酒運転と同等の重い罪になってしまう可能性があります。特にCPAP治療中の方は漫然と使用を継続しているのはダメで、交通事故を起こさないためにも、定期的な検査を受け正しい設定のもとで睡眠時無呼吸症候群の治療をしっかりと行いましょう。

運輸・交通SAS対策支援センター <https://www.sas-support.or.jp/column/sas-domestic/>
いびきや睡眠時無呼吸症候群(SAS)に悩む方のためのポータルサイト <https://659naoso.com/sas/trouble>

マスク等備品交換について

マスクやCPAP備品等の交換を希望される場合は、マスクの種類や交換履歴の管理・記録を行いますので現在使用しているマスクなどをお持ちください。

また、マスクの交換や機械の不具合等で来院された場合、診療扱い(診療費負担あり)となりますので、ご了承ください。

※原則、前回の交換から1年未満の場合は破損等の理由を除きお断りしています

耳鼻咽喉科・アレルギー科
いびき・無呼吸検査治療室

むらいクリニック

〒503-0836

岐阜県大垣市大井2-44-2

TEL 0584-77-3838 Fax 0584-77-3839

予約専用TEL 0584-47-9898

<http://www.murai-clinic.jp>



ホームページ



予約サイト



LINE公式サイト

